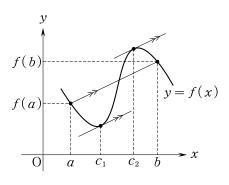
(6) 平均値の定理

f(x) が $a \le x \le b$ で連続, a < x < b で微分可能であるとき,

$$\frac{f(b)-f(a)}{b-a}=f'(c)$$

を満たすcが、aとbの間に少なくとも1つ存在する.



17 曲線の媒介変数表示

座標平面上を運動する点Pの描く曲線を Cとする.

時刻 t における動点 P(x, y) の x 座標, y 座標は, ともに t の関数であるから,

$$x = f(t), \quad y = g(t) \quad \cdots (*$$

と表すことができる.

(*)によって定まる点 P の軌跡が, C である.

一般に、C上の点 P(x, y) の座標が、ある変数 t を用いて、(*) のように表されるとき、t を媒介変数といい、(*) を C の媒介変数表示という。

● 媒介変数で表された関数の微分法

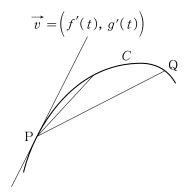
$$x = f(t), y = g(t)$$
 とすると,
$$\frac{dy}{dx} = \frac{\frac{dy}{dt}}{\frac{dx}{dt}} = \frac{g'(t)}{f'(t)} \ (ただし, \frac{dx}{dt} = f'(t) \neq 0 \ とする)$$

(解説)

x = f(t), y = g(t) によって表される曲線を C とし、C 上に 2 点 P(f(t), g(t)), Q(f(t+h), g(t+h)) $(h \neq 0)$

をとると,

$$\overrightarrow{PQ} = (f(t+h) - f(t), g(t+h) - g(t)).$$



したがって,

$$\overrightarrow{PQ} / \left(\frac{f(t+h) - f(t)}{h}, \frac{g(t+h) - g(t)}{h} \right)$$

となる.

ここで, $h \rightarrow 0$ とすると, Q は P に近づき, \overrightarrow{PQ} の向きは, 点 P における曲線 Cの接線の方向に限りなく近づく.

したがって,

$$\left(\lim_{h\to 0} \frac{f(t+h)-f(t)}{h}, \lim_{h\to 0} \frac{g(t+h)-g(t)}{h}\right) = \left(f'(t), g'(t)\right)$$

で定まるベクトル, すなわち,

$$\overrightarrow{v} = (f'(t), g'(t))$$

したがって、接線の傾き $\frac{dy}{dx}$ は \overrightarrow{v} の成分の比の値 $\frac{g'(t)}{f'(t)}$ で与えられることにな る.

(解説終り)

例 $x = t^2$, $y = t^3 + t$ $(t \neq 0)$ のとき,

$$\frac{dx}{dt} = 2t$$
, $\frac{dy}{dt} = 3t^2 + 1$.

したがって,

$$\frac{dy}{dx} = \frac{\frac{dy}{dt}}{\frac{dx}{dt}}$$
$$= \frac{3t^2 + 1}{2t}.$$

例題 !

a が a>0 の範囲を動くとき、xy 平面の曲線 $y=a^2x^2+\frac{2}{a}$ が動く範囲を求め 図示せよ.

【解答】

[解1]

$$y = a^2 x^2 + \frac{2}{a} \quad (a > 0)$$
 ... (1)

x = X と固定すると

$$y = X^2 a^2 + \frac{2}{a} (a > 0)$$

は a の関数である. そこで,

$$F(a) = X^2 a^2 + \frac{2}{a}$$

とおいて, a > 0 における y = F(a) の値域を調べる.

(i) X = 0 のとき

$$F(a) = \frac{2}{a}$$
 より, $F(a)$ の値域は, $y > 0$.

(ii) $X \neq 0$ のとき

$$F'(a) = 2X^{2}a - \frac{2}{a^{2}}$$
$$= \frac{2X^{2}}{a^{2}} \left(a^{3} - \frac{1}{X^{2}}\right)$$

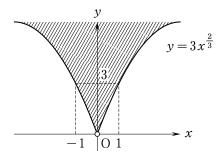
а	(0)	•••	$\frac{1}{\sqrt[3]{X^2}}$	•••	(∞)
F'(a)		_	0	+	
F(a)	(∞)	Z	$3X^{\frac{2}{3}}$	7	(∞)

ゆえに、①上のx座標がXである点(x, y)のとり得る範囲は

$$\begin{cases} X = 0 \text{ obs } 0 < y \text{ を満たす}(x, y) 全体 \\ X \neq 0 \text{ obs } 3X^{\frac{2}{3}} \leq y \text{ を満たす}(x, y) 全体 \end{cases}$$

である. したがって x = X を動かして考えることにより ① が動く範囲は

$$y \ge 3x^{\frac{2}{3}}$$
, $(x, y) \ne (0, 0)$



したがって、求める範囲は上図のようになる (境界含む、ただし点 (0,0) は除く). 「解 2]

$$y = a^2 x^2 + \frac{2}{a} (a > 0)$$
 ... 1

 $\lceil a > 0$ を動くとき、① が点 (X, Y) を通る」

$$\iff$$
 「 $Y = a^2 X^2 + \frac{2}{a}$ を満たす正の実数 a が存在する」

$$X^2a^3 - Ya + 2 = 0$$

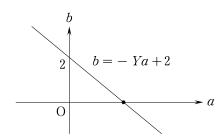
$$f(a) > 0$$
 に少なくとも 1 つの実数解をもつ | ··· (*)

$$G(a) = X^2 a^3 - Ya + 2$$
 とおく.

(i)
$$X = 0$$
 のとき

$$G(a) = -Ya + 2 \sharp \emptyset$$

$$(*) \iff -Y < 0 \iff Y > 0$$



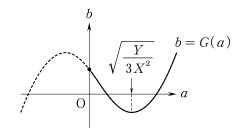
(ii) $X \neq 0$ のとき

$$G'(a) = 3X^2a^2 - Y = 3X^2\left(a^2 - \frac{Y}{3X^2}\right)$$

- ⑦ $Y \le 0$ のとき $G'(a) \ge 0$ より G(a) は a > 0 において単調増加であり、 G(0) = 2 > 0 より a > 0 において G(a) > 0 だから(*) は成り立たない.
- \widehat{A} Y > 0 \emptyset ≥ 3

$$G'(a) = 3X^{2} \left(a - \sqrt{\frac{Y}{3X^{2}}}\right) \left(a + \sqrt{\frac{Y}{3X^{2}}}\right)$$

а	(0)		$\sqrt{\frac{Y}{3X^2}}$	
G'(a)		_	0	+
G(a)	(2)	7	極小	7



よって,

$$(*) \iff G\left(\sqrt{\frac{Y}{3X^2}}\right) = -\frac{2Y}{3}\sqrt{\frac{Y}{3X^2}} + 2 \le 0$$
$$\iff Y \ge 3X^{\frac{2}{3}}$$

(i), (ii) より, 求める範囲は

$$x = 0 \text{ Obs } y > 0, \quad x \neq 0 \text{ Obs } y \ge 3x^{\frac{2}{3}}$$

つまり

$$y \ge 3x^{\frac{2}{3}}$$
, $(x, y) \ne (0, 0)$

である (以下, [解1]と同様).